

一条小学校屋内運動場アリーナ腰壁改修工事

通し番号	図面番号	図面名	通し番号	図面番号	図面名
01	A-00	表紙・図面目録			
02	共-01・02	営繕工事共通仕様書(1)(2)			
03	建特-01	建築工事特記仕様書(1)			
04	A-01	配置図			
05	A-02	1階平面図			
06	A-03	展開図・断面詳細図			

		阿波市教育委員会 教育総務課		工事名	一条小学校屋内運動場アリーナ腰壁改修工事	図面番号	A-00	
		設計	竣工	図面名	表紙・図面目録	縮尺	NO SCALE	
		2025. 10						

工事名：一条小学校屋内運動場アリーナ腰壁改修工事

営繕工事共通仕様書

Ⅰ. 工事概要

1. 工事名称

一条小学校屋内運動場アリーナ腰壁改修工事

2. 工事場所

阿波市吉野町西条 一条小学校

3. 建物概要

建物名称	一条小学校屋内運動場	
構造・規模	鉄骨造 地上2階	
敷地面積	― (m2)	
延床面積	705(m2)	
消防法施行例別表第1の区分	(7項)	

4. 工事種目

種目	工事概要
建築工事	腰壁改修工事一式

5. その他

本工事は、資材価格高騰に対する特例措置について(令和4.12.9建設第686号)に基づく特例措置の対象工事である。

Ⅱ. 営繕工事共通仕様書

1. 適用基準

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の下記による。

- 公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 令和7年版(以下「標仕」という。)
- 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編) 令和7年版
- 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編) 令和7年版
- 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 令和7年版(以下「改標仕」という。)
- 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編) 令和7年版
- 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編) 令和7年版
- 木造建築工事標準仕様書 令和7年版
- 建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)・同解説 令和5年版
- 建築工事標準詳細図 令和4年版(以下「標準図」という。)
- 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編) 令和7年版
- 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編) 令和7年版
- 敷地調査共通仕様書 令和5年版

また、次の図書(国土交通大臣官房官庁営繕部監修)を参考とする。

- 建築工事監理指針 令和7年版(以下「監理指針」という。)
- 建築改修工事監理指針 令和4年版
- 電気設備工事監理指針 令和7年版
- 機械設備工事監理指針 令和7年版

2. 優先順位

設計図書の優先順位は、次の順とする。

- 質問回答書(②から⑤に対するもの)
- 補足説明書
- 特記仕様書(営繕工事共通仕様書を含む)
- 図面
- 公共建築工事標準仕様書等

4. 工程表

受注者は、契約書に基づく工程表を契約締結後14日(土曜日、日曜日、祝日等を除く。)以内に提出すること。

5. 工事の着手

受注者は、設計図書に定めのある場合、又は特別の事情により発注者の承諾があった場合を除き、工事開始日以降30日以内に工事に着手しなければならない。

なお、工事開始日とは、契約書に明示した着工の日(特記仕様書において着工の日を別に定めた場合にあっては、その日)をいう。

7. 下請負人の選定

- 受注者は、本工事の一部を下請に付する場合は、工事の施工に十分な能力と経験を有した者を選定すると共に、阿波市内に主たる営業所を有するものの中から優先して選定するように努めなければならない。なお、請負対象額(設計金額)が1億円以上の工事については、阿波市内に主たる営業所を有するもの以外と下請契約する場合に、阿波市内企業を選定しない理由を記した理由書を事前に監督員に提出しなければならない。

- 受注者は、本工事の全部若しくは一部について、指名停止期間中有資格業者と下請契約を締結してはならない。

12. 発生材の処理等

- 発生材の処理等は、次により適正に行う。
 - 工事による発生材のうち、文化財保護法に基づく物及び有価材と判断される物については、報告及び引き渡しを要する。
 - 上記以外の発生材は、建設工事に係る資材の再生資源化等に関する法律、資材の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設副産物適正処理推進要綱その他関係法令等に依り処理すること。受注者は、工事で発生する産業廃棄物を保管する場合、または自ら運搬する場合等においては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の規定を遵守すること。図書に表示のないものについては、監督員に報告・指示を仰ぐこと。
 - 産業廃棄物については、法令等に基づき、適正に処分すること。
 - 建設発生土の処理については、各専門特記仕様書の1章一般共通事項「建設発生土の処理」による。
 - 解体前に、照明器具、変圧器及び進相コンデンサのPCBの有無を調査し、有れば、監督員の指示に従うこと。

工事名：一条小学校屋内運動場アリーナ腰壁改修工事

- 空調機等の整備や撤去処分を行う場合は、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律をはじめとする関係法令に基づき、作業や手続きを行う。家電リサイクル法に該当する機器については、家電リサイクル法により処理すること。

- 受注者は、建設副産物が搬出される工事にあたっては、建設発生土は建設発生土搬出調書(様式3)、産業廃棄物は産業廃棄物管理票(マニフェスト)により、適正に処理されているか確認するとともに、監督員に建設発生土搬出調書を提出しなければならない。なお、監督員等の指示があった場合は直ちに産業廃棄物管理票の写しを提示しなければならない。

15. 施工

- 設計図書に疑義が生じたり、現場の納まり又は取合い等の関係で設計図書によることが困難又は不都合な場合が生じたときは、標仕記載の「疑義に対する協議等」による。
- 工事現場に監督員は常駐できないので、疑問な点、その他打合せ決定を要する事項は、監督員の出向いた時、又は阿波市へ問い合わせ、工事に遺漏のないようにすること。
- 品質管理は、適切な時期に品質計画に基づき、確認、試験又は検査を行うこと。結果が管理値を外れるなど疑義が生じた場合は、品質計画にしたがって適切な処理を施すこと。また、その原因を検討し、再発防止のための必要な処置をとること。
- 施工にあたっては、設計図書に従って忠実に施工すること。不都合な工法等を発見した場合は、工事が進行済みであっても根本的な手直しを命ずるので、注意して施工すること。手直しは、受注者の責任において実施し、それに要する費用は受注者の負担とする。
- 本工事の施工及び管理にあたり法規上必要となる有資格者については、工事着手前に資格者名簿及びその証明書類等を監督員に提出すること。
- 設計図書(各施工計画書を含む)に定められた工程が完了した時、報告書を提出し、監督員の検査等を受け、承諾を受けて次の工程に進むこと。
- 試験等によらなければ確認できない工事(製品)については、試験等計画書(施工計画書に記載)を提出し、監督員の承諾を受け試験を行い、その結果を報告し承認を得ること。

18. 工事看板等

- 工事現場には、工事看板を監督員の指示に従って見やすい場所に設けること。
- 受注者は、本工事において使用する工事看板・リワード等については、阿波市産木材を用いた木製品を優先して使用するよう努め、使用できない場合は、県産木材を用いた木製品を優先して使用するよう努めるものとする。
- 受注者は、監督員から渡される「技能労働者への適切な賃金水準の確保等に関するポスター(A3)」を現場関係者が見やすい場所に掲げるとともに、掲示状況を工事写真として提出しなければならない。ただし、次のいずれかに該当する工事は対象外とする。
 - 区画線工事、舗装工事、標識設置工事、照明灯工事
 - 当初請負金額が200万円未満の工事

22. 完成図等

- 電子納品：対象外
- 受注者は、原則として「徳島県電子納品運用ガイドライン【建築工事編】」に基づいて設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品(以下「電子納品」とすること。
- 提出書類
 - 竣工図(製本3部、電子データ2部)(サイズ：監督員の指示による)
 - 工事写真(写真台帳1部・電子データ1部)
 - 使用材料一覧表(提出方法は監督員の指示による)
 - 保全に関する資料
 - その他監督員が指示する図書(必要部数)
- しゅん工図は関係図面(データ貸与)を修正して作成すること。しゅん工図データは、関係図面(データ貸与)を修正して作成し、PDF形式、SFC形式及びジグナル形式をCD-R等に保存する。(市の標準CADソフトであるJW_cadで開いた際に文字化け等の不具合が生じないことを確認すること。)
- 工事写真の電子データは完成写真、着手前、資機材、施工状況の順に整理する。完成写真については、工事目的物の状態が、資機材、施工状況等については、不可視部出来形が写真で的確に確認できること。
- 工事写真の撮影は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領」によること。

区 分	サ イ ズ
着 手 前	カラー、手札版又はサービスサイズ
施 工 中	カラー、手札版又はサービスサイズ
完成写真	カラー、手札版又はサービスサイズ
- 工事完成撮影は、別途指定がある場合を除き、専門家にやらないものとする。
- 既存埋設管等の状況について、現場と図面の相違が発覚した場合は竣工図に反映させること。

26. 暴力団からの不当要求又は工事妨害の排除

受注者は、工事の施工に関し、暴力団等から不当要求又は工事妨害を受けた場合には、阿波市が定める「暴力団等による建設工事への不当介入対応マニュアル」により対応しなければならない。

Ⅲ. 建築改修工事特記仕様書

1章 改修一般共通事項

1. 施工条件
- 施工条件は次による。
- ① 工程については、施設管理者と協議の上決定すること。

② 施設の使用に影響のある、騒音、振動、粉塵等を伴う作業は平日の授業中は原則施工できない。また、休日においても施設管理者より作業中止の要望がある場合は、作業の中止を行う場合がある。

③ その他の詳細な施工条件については、実施工程表及び総合施工計画書の作成時に施設管理者と協議の上決定し、適宜相互に日程の調整及び確認を行う。
2. 施工調査
- ① 調査期間

本工事の着手時に、給排水、ガス管、地下埋設物等の調査を行う。
調査期間は 1 週間とする。切り直し時期については、協議による。
3. 産業廃棄物の処理
- 産業廃棄物の処理については、次のとおりとする。
- (注)表中「優良」欄に丸印の入っている業者は、「徳島県優良産業廃棄物処理業者の認定業者であることを示す。

種類	処分許可業者の会社名 (処分区分)	優良	所在地 処分地	運搬距離 (km)	処分費 (税抜、円)	単位
木くず	東條商事(株)	○	板野郡板野町矢武字南川窪43-1 板野郡板野町大伏字西浦合	9.4	11,000	t

・上記以外の許可業者の処分場で処分しても差し支えないが、増額変更の対象とはしない。また、この場合、処分単価の見積書を求め、減額変更を行うことがある。

・上記の処分場が徳島県優良産業廃棄物処理業者(以下、「優良産廃処分業者」という。)に認定されているとき、処分場を変更する場合は原則として優良産廃処分業者に変更すること。ただし、諸般の事情により優良産廃処分業者以外の処分場で処分を行う場合は、理由書を監督員に提出すること。

・コンクリート・アスファルト類の搬出先については、中間処理施設のみとする。

・木材については、50kmの範囲内にある木材再資源化施設への搬出を原則とする。

2章 仮設工事

1. 敷地の状況確認
- 着工に先立ち、敷地境界、既存構造物、敷地の高低差、地下埋設物の確認、近隣建築物及び工作物の現状確認、排水経路及び配水管の流末処理の確認並びに敷地周辺の状況を確認し、監督員に報告すること。
2. 工事用水、電力等
- ① 既存電力利用(

出来る

 ・ 出来ない)、電力料金(

有償

 ・ 無償)ただし、施設管理者と協議すること。

② 既存用水利用(

出来る

 ・ 出来ない)、用水料金(

有償

 ・ 無償)ただし、施設管理者と協議すること。
3. 工事車両用駐車場資材置場・現場事務所用地等
- ① 施設管理者と協議のうえ、決定すること。

3章 木工事

1. 一般事項
- ① 木材、合板等は、品質、含水率、出荷量等を記録した出荷証明書は監督員に提出する。含水率は(

A

 ・ B)種とする。

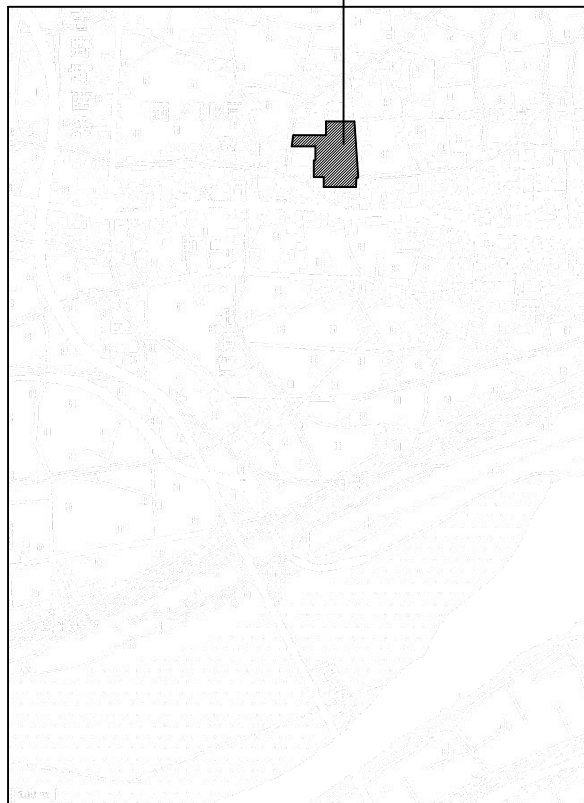
② 木材の品質

保存処理木材は、日本農林規格に規定する保存処理の処理区分のうち、K2からK4までの保存処理(JIS K 1570)(木材保存剤)に規定する木材保存剤(ただし、クレオソート油は有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律(昭和46年法律第112号)に適合したものとする。)、これと同等の薬剤を用いたK2からK4までの薬剤の浸透度及び吸収量を確保する工場処理その他これと同等の性能を有する処理を含む。)が施されているもの又は認証木材建材(AQマーク表示)として認定された保存処理材を使用するものとする。
2. 製材
- | | | | | | | | | |
|-------------|------|----|--------|-------|----|-------|------|--------|
| | 施工箇所 | 樹種 | 寸法 | 材料の等級 | 形状 | 含水率 | 保存処理 | 備考 |
| 下
地
材 | 腰壁 | 杉 | 45×12 | 2級 | | 15%以下 | — | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 造
作
材 | 腰壁 | 桧 | 105×12 | 上小無節 | | 15%以下 | — | UV塗装 |
| | 腰壁 | 桧 | 60×18 | 上小無節 | | 15%以下 | — | ウレタン塗装 |
| | 腰壁 | 桧 | 30×18 | 上小無節 | | 15%以下 | — | ウレタン塗装 |
3. 諸金物
- ① 下地材及び造作材の釘は、JIS A 5508の規格品とする。

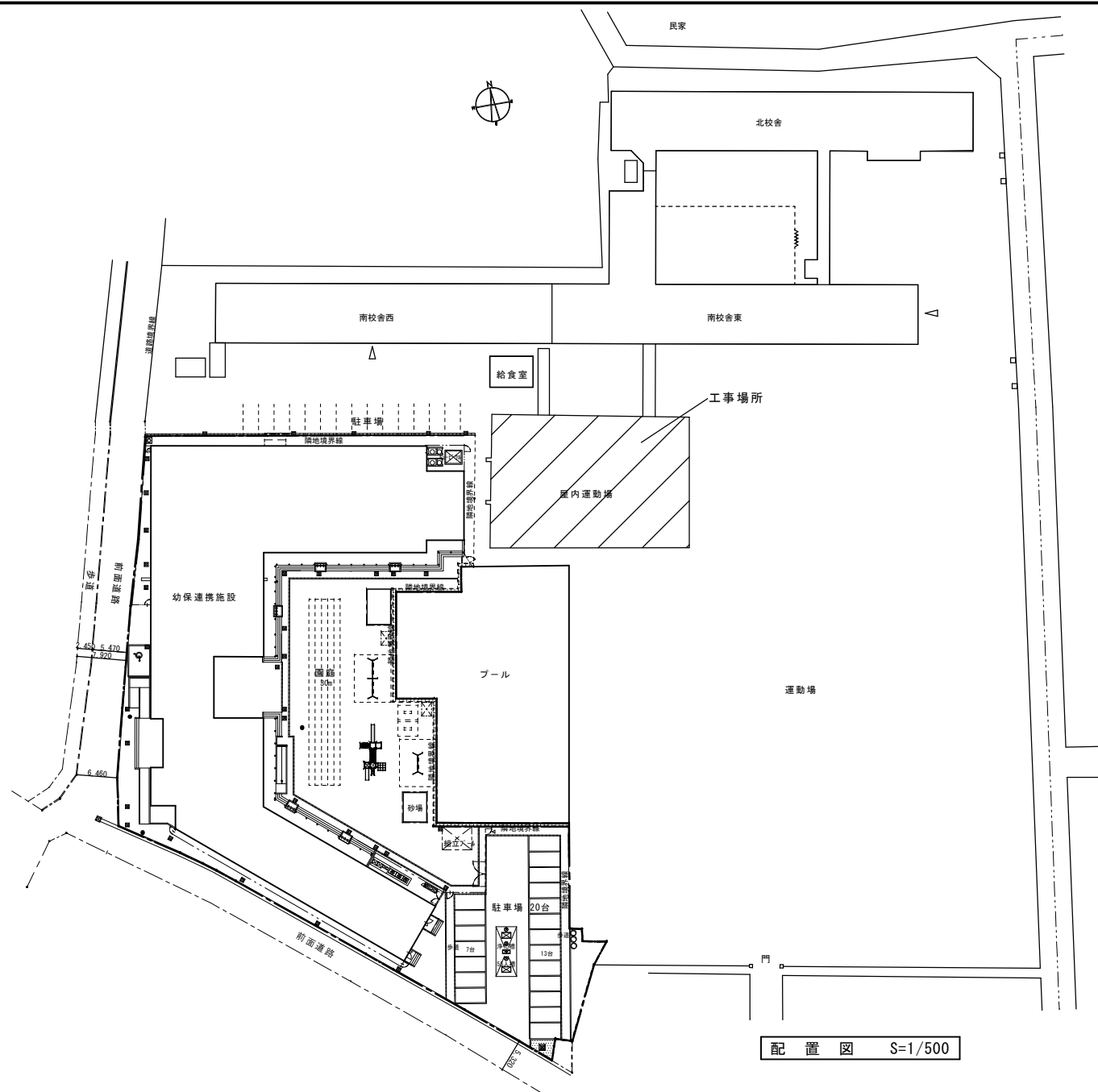
② 木ねじはJIS B 1112(十字穴付き木ねじ)又はJIS B 1135の規格品とする。

③ かすがい、座金、箱金物、短ざく金物等は図示により、図示のもの以外は標仕によるが、補助として、日本建築学会建築工事標準仕様書を適用する。
4. 工法
- 継手、仕口、取付け方法等は図示により、図示のもの以外は標仕によるが、補助として日本建築学会建築工事標準仕様書を適用する。
5. 接着剤
- ホルムアルデヒド水溶液を用いた建具用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等(ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤)を用いた接着剤のホルムアルデヒドの発散量は、F☆☆☆☆とする。
ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、F☆☆☆☆の接着剤を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

工事場所 阿波市吉野町西条 一条小学校

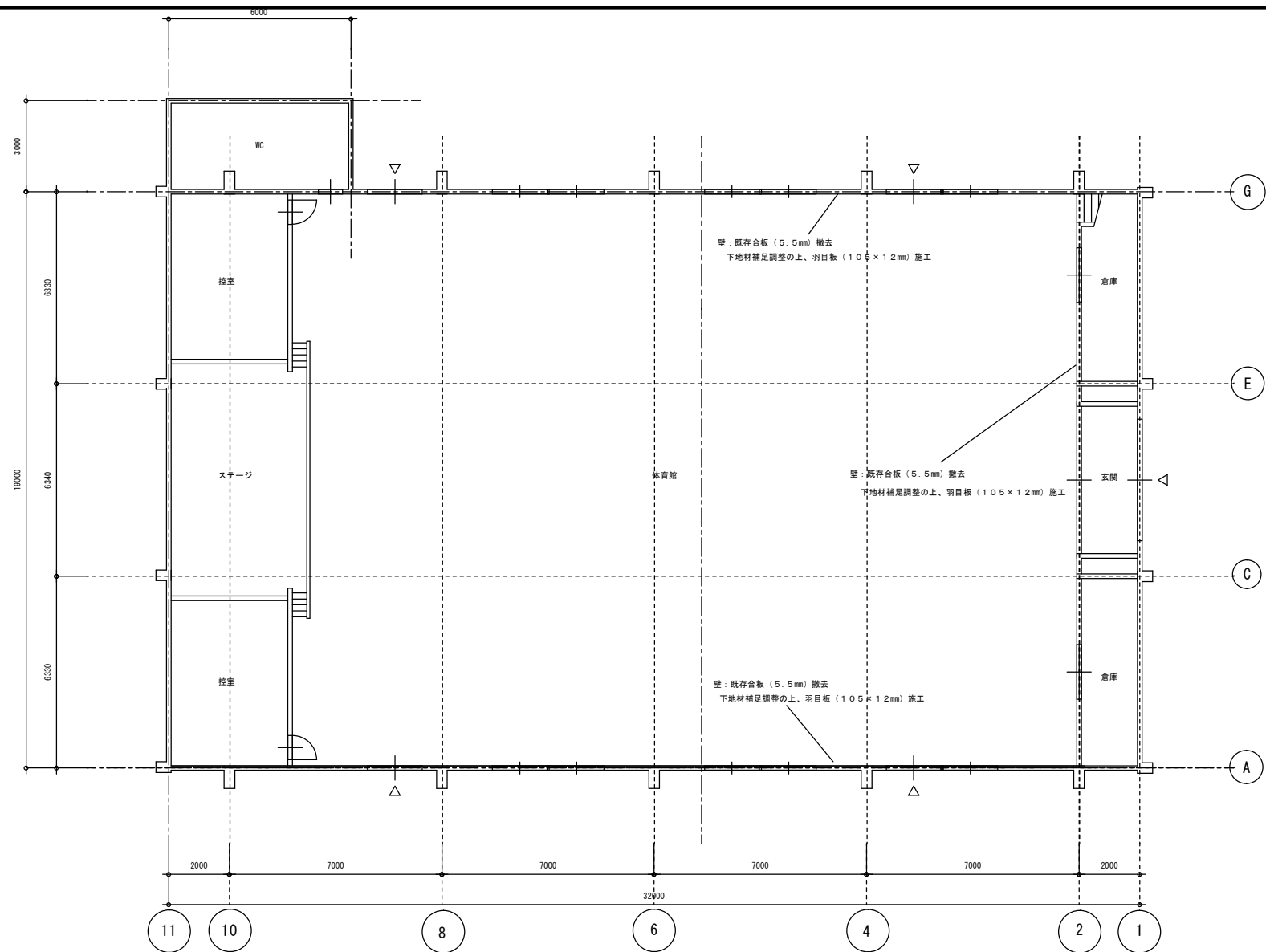


案内図



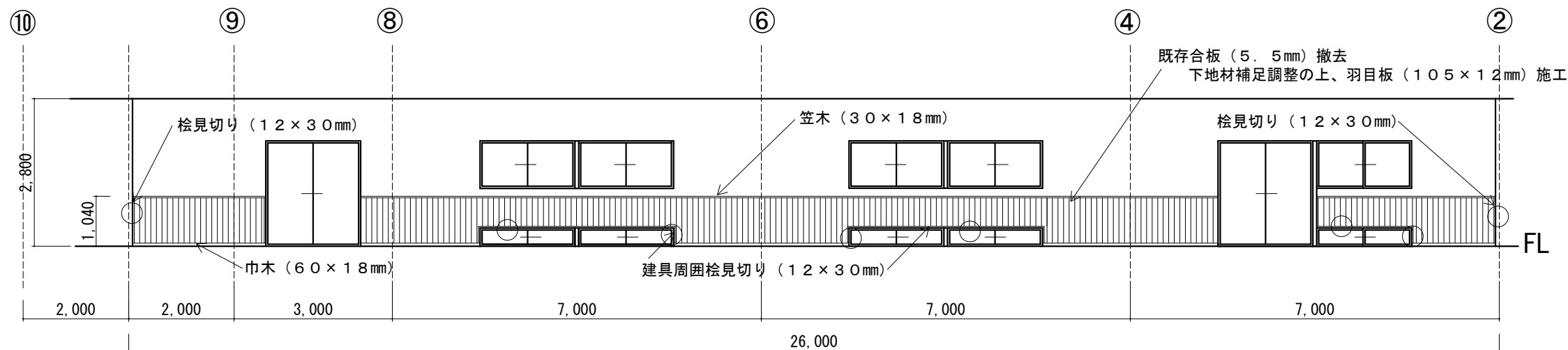
配置図 S=1/500

TITLE	一条小学校屋内運動場アリーナ腰壁改修工事	DATE	—
DRAWING	配置図	SCALE	A2 : 1/500 A3 : ×70%
CHECK		NO.	A-01

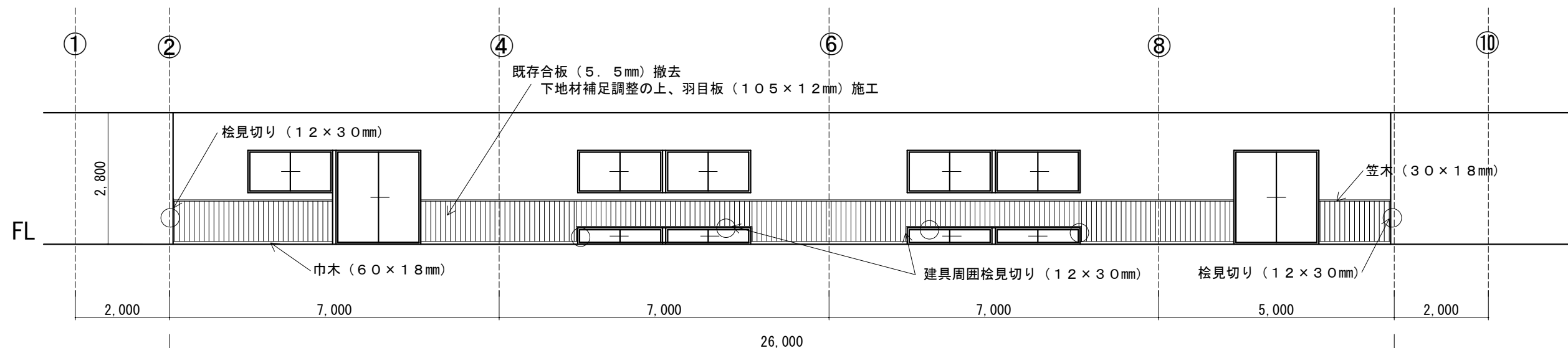


体育館 改修後 平面図 1/200

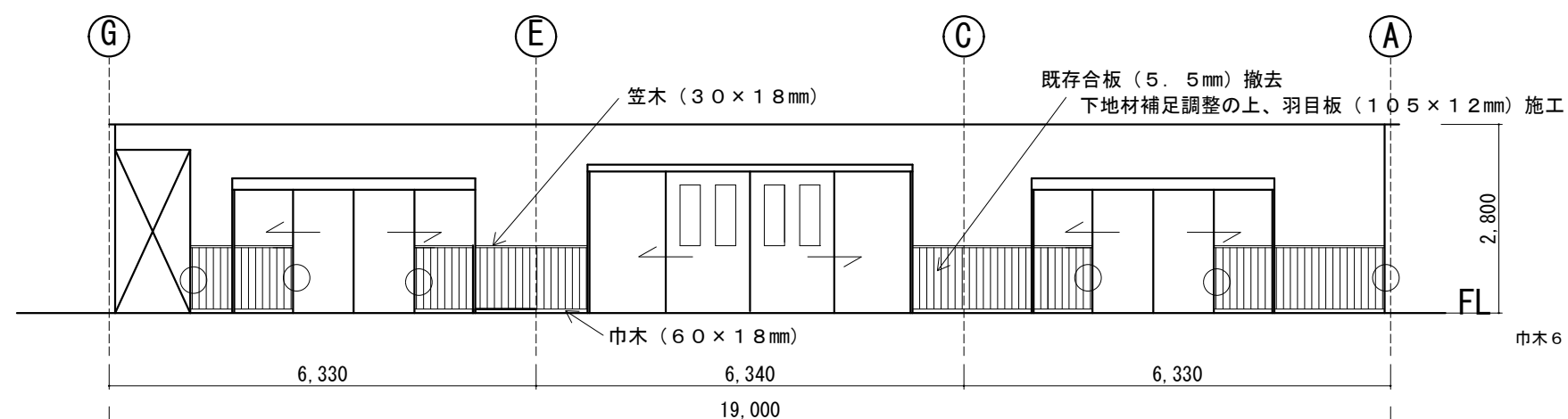
TITLE	一条小学校屋内運動場アリーナ腰壁改修工事	DATE	—
DRAWING	1階平面図	SCALE	A3:1/200
CHECK		NO.	A-02



アリーナ北面展開図 1/100

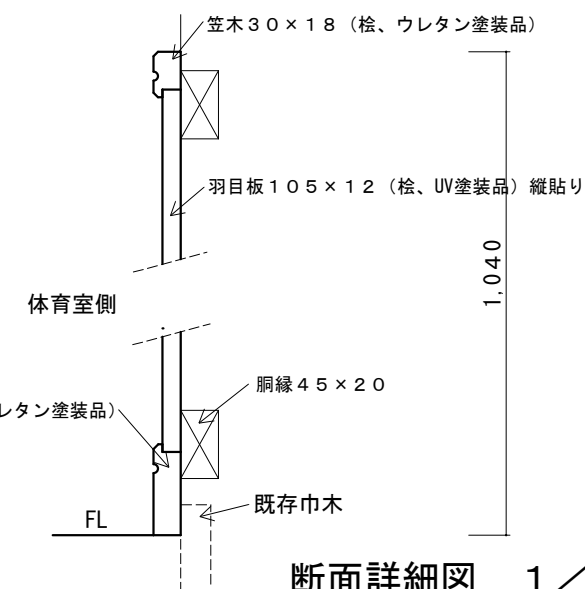


アリーナ南面展開図 1/100



アリーナ東面展開図 1/100

○部 桧見切り (12 x 30mm)



断面詳細図 1/5

		TITLE	一条小学校屋内運動場アリーナ腰壁改修工事	DATE	—
		DRAWING	展開図・断面詳細図	SCALE	A3:1/5, 1/100
		CHECK		NO.	A-03